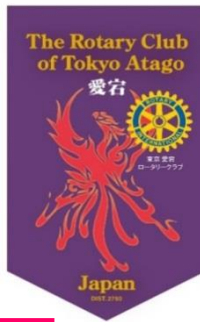


No. 15 2014/1/14

WEEKLY REPORT 2013~2014



東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹
 副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次
 副会長 波多野まみ
 例会場 東京アメリカンクラブ
 例会日 毎週火曜日 8:00~

■2014年1月14日(火)

本日の卓話

隈研吾建築都市設計事務所主宰

東京大学教授

隈 研吾 様

~四つのテスト~

1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか
- 言行はこれに照らしてから行うべし

隈 研吾様 略歴

1954
 横浜生まれ
 1979
 東京大学大学院工学部建築学科修了
 1987
 空間研究所設立
 1990
 隈研吾建築都市設計事務所設立
 2008
 KUMA & ASSOCIATES EUROPE設立(パリ、フランス)
 <教育・研究活動>
 1985 - 1986
 コロンビア大学建築・都市計画学科客員研究員 /
 Asian Cultural Council給費研究員(ニューヨーク、アメリカ)
 1994
 コロンビア大学大学院建築・都市計画学科講師(ニュー
 ヨーク、アメリカ)
 1998 - 1999
 慶應義塾大学環境情報学部特別招聘教授
 2007 - 2008
 イリノイ大学客員教授(シカゴ、アメリカ)
 2001 - 2009
 慶應義塾大学理工学部教授
 2009 - 現在
 東京大学教授

■1月7日(火)愛宕神社御参拝

新年1回目の例会前、朝7時より、愛宕神社御参拝へ参りました。早朝より16名のメンバーが集まり、あの石段を上がりご挨拶。後ろを振り向くと、ちょうど朝日の光が私たちを照らし始めておりました。2014年も素晴らしい年になりますように・・・。



■1月7日(火)例会 会長挨拶 会長 尾関 勇

新年あけましておめでとうございます。本日も先輩ビジターやゲストの方々にお越しいただきありがとうございます。皆様におかれましては、この年末から新年にかけてというのは、非常に健やかに過ごされたのではないかと思います。私も、30日から31日にアメリカから妻と息子が帰国し、一緒に伊勢神宮、お伊勢さんへ参りまして、その後京都を回り帰ってきました。一日は会社の上に神社があるのですが、そこの初詣と氏神様への初詣、そして1月5日には会社の御札を頂いている京都の伏見稲荷さんへ改めて参り、本日愛宕ロータリーなので愛宕神社へ行きました。妻からは、年末からそんなに神社へ行くのと言われましたが、やはり終わりと始まりが重要かと思いい、一連の行事が終わったのかな、というところがございます。やはりそういったことに、日本人がきちんとするのは、日々仕事当世知辛い中で、スムーズに行きたいという皆さんの表れかと思いますが、今日思うところとして、まず4月の増税がありますが、これに向けて新年の挨拶をお客様としていますが、大きな話題であります。

私は不可避なことだと思いますが、使い捨てをしてきた日本人のことを考えますと、軽減税率で差をつけた方がいいのではと、生活スタイルも変わるのかなと思います。もう一つ、今決着をしつつあるTTPの交渉、こちらはどなたかが新聞で書いていましたが、イデオロギー的なことが、非常に政治的な色合いが強くなっているような気がします。私は元々自由貿易主義で、それがいいと思っていますが、政治的に中国を牽制する意味合いの連合が強くなってきて、いかがなものかと、自分では思っています。ただこうなると、私共のお客さんはほぼ国内ですが、外国からの者もそうですが、人が多く入ってくるのではないかと。弊社のお客様の中で考えると、本当に人が足りません。お客様の一つで、イオンモール幕張新都心に出店されているところがありますが、全く人が集まらない、朝9時~夜11時くらいのシフトに入れる、健康で365日働ける日本人、いませんよね。やはり私たちがそこで何をしなければいけないか、初めから言っている多様性、こちらを知ることと重んじることだと思います。仕事の点では皆さんそれぞれ戦略を練られると思いますが、例えば世界にはさまざまな宗教があるわけですが、なぜアメリカの大統領選が11月の第一週の月曜日の翌日、

と決めているのか。火曜日でなく翌日。これはキリスト教に関係があり、今回詳細は省力致しますが、こういったことを我々が知らなさすぎる部分があるかなと。多様性の部分を考えると、今年愛宕ロータリーも国際提携を進めていきたいと思っています。ロータリー関係の外国人は非常にジェントルですので、自分たちのソースをあまり押し出しませんが、そういったことを我々も深く理解した上で、そして現実的な経済社会の中でできることを推し進めていきたいと思っています。

こんなことを話すのも、アフリカのことを皆で話していたこと、また妻がいるシアトルでソマリアの難民の方を受け入れていることがあり、何が出来るか見ていると、やはり宗教的・民族的な土着信仰が色々あり、それを知ったうえで手を組んでいくことも必要だと思った次第です。多様性をきちんと考えた上で、特に女性、ジェンダーを一切言うことなく、皆さんの持ち味を生かして社会に関わることが出来るのがベストだと、力を発揮できればと思います。今年、当ロータリークラブでは国際的提携の他にも、地区大会や国際大会に初めて参加します。皆様方多くの力を結集していただき、進んでいきふたいと思いますので、どうぞ今年も宜しくお願い致します。

■1月7日(火)フリーディスカッション

「奉仕について、また愛宕RCの在り方」

愛宕RC初のフリーディスカッションは、尾関会長のファシリテーションで進行いたしました。

メンバーはもちろんのこと、ビジターの岩城義親さま(東京西RC)、ゲストの方々にも発表をしていただき、貴重なご意見を頂くことができました。朝から非常に盛り上がったディスカッションでありました。

「奉仕PT委員会より:箱根移動例会・奉仕活動MT意見まとめ」

＜猿田さん＞人材発掘イベントとして講演会を開催してはどうか。起業家の卵を育てる活動。グループを創って育て、将来的にはクラブに入会してもらおう。単年度ではなく、長期的なプランで考えていくのがいいだろう。また、問題意識を持った人たちが集まり、話がどんどん進む仕組みのグループを作り、私達はポイントで関わっていく形を考えている。

＜ゲスト＞アントレプレナー育成については政府も行っているが、両方が合致していない。カントリーギャップより大きいジェネレーションギャップをどう埋めていくのか。

＜福菌さん＞専門性をいかに生かすか。継続できるのが大切だと思いますので、専門性とロータリーの器を上手く活用したらいいのでは？

「今の若者について」

＜石渡さん＞今の若者たちが希望を持ってないのは、大人たちにも問題があるのではないか。

＜ますみさん＞カントリーギャップよりも、価値観を共有できる仲間がいることが重要。アントレプレナーにお金がないのが現状であり、予算がふんだんにあるのなら、それを利用していくのも必要。補助金がうまく利用できていないのも現実問題としてある。

＜ゲスト＞ロータリーは重厚な雰囲気が入りづらいのではないのでしょうか。また他にもやるべき活動がある、新しいものを示し繋いでいくことがミッションだと思います。

＜サイさん＞失われた20年の中で、若者の意識が低下し、貧乏が良くお金持ちは悪いイメージ。アントレプレナーだけでなく、企業内の人たちをサポートできる体制があってもいい。ターニングポイントのサポート、学生をゲストと呼び、交流をするのはどうか。

＜岩城さん＞今の若い人は、やらない人が圧倒的に増えている。楽しみ、喜びをどうやって体験させるのか。やり方を教え、共有することが大切だと思う。

「最後に」

＜比嘉さん＞お金だけでなく人材育成を。日本人、さらに地球人育成する視点も重要だと考えている。儲かるから支援、ではない。意見の合致した人しか、愛宕RCには入れない、ここを明確にする必要がある。



◆◆ 前回のニコニコBOX ◆◆ ¥15,000 累計総額¥27,290

- ・朝日輝く中、皆様と共に愛宕神社様のご参拝から私たち愛宕RCの2014年が始まりましたことが、とてもありがたく感謝を捧げます。いよいよ私たちの年!?!の始まりです！駆け抜けませう！！(石渡)
- ・愛宕RCの皆様。改めまして、本年も宜しくお願い致します。(若山)
- ・あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。奉仕活動がんばりましょう！(比嘉)
- ・一年宜しく申し上げます。楽しく、面白く、真面目に。(齋藤)
- ・今年もよろしく申し上げます。(サイ)
- ・本年もよろしく申し上げます！！(山田)
- ・2014年もよろしくお願ひいたします。ニコニコ。(片山)
- ・明けましておめでとうございます。今年も愛宕RC盛り上げていきましょう！(柳)
- ・おめでとうございます。愛媛県宇和島出張でmake upします。宜しく申し上げます。(東京西RC 岩城義親さま)

■1月のプログラム

1/21(火) イニシエーションスピーチ

1/28(火) 卓話: 梅田悦生様(東京恵比寿RC所属。医学博士・赤坂山王クリニック院長、レコール・デュ・ヴァン創業者『ワインと健康について』)

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

＜事務局＞

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL: 03-3568-3827 / FAX: 03-3568-3829 / E-mail: office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

